

一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2010年1月15日号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

年頭にあたって

会長 大田吉彦

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は東京高専の教育事業、ならびに技術懇談会の事業活動にご理解、ご協力をいただき有難うございました。おかげさまで昨年とは技術懇談会も任意団体から一般社団法人に移行し、新しくスタートすることになりました。本年はさらに活発な運営に努力していくつもりでありますのでよろしく願います。



一昨年、米国証券大手リーマン・ブラザーズの経営破綻から大きく落ち込んだ景気も昨年どうにか持ち直してきている様子もありますが、いまだに日本の企業とくにものづくりを生業とするメーカーにとってははなはだ厳しい状況にあります。つい最近まであらゆる分野で最高の技術を誇っていた日本の企業も現在では韓国、中国などに遅れをとっている例も多く見られるようになりました。技術力も低下しているのでしょうか、個々の力はあるがそれらを統合する力が欠けているのでしょうか。各企業あるいは地域、業界で検討すべき課題だと思います。また地球温暖化問題も課題です。よくて安いもの、顧客が必要とするものを供給しさえすればよいわけではなく、CO₂問題に代表する、製品の廃棄にいたるまでの環境に及ぼす影響、あるいは生産に要するエネルギー効率なども考慮する必要があります。メーカーの責任は大きくなってきていると思います。しかしわれわれはこれらを克服しさらに進んだ技術、製品を世間に供給していくべきであります。

技術懇談会は各企業の抱える共通の問題をとりあげ、各企業の不足している技術を補っていくことが必要だと思っています。そのため今年も東京高専の先生や職員の方々との情報交換、共同研究、外部施設の見学会、著名人の講演会、企業社員のための講習会、学校の授業への参加などを計画しております。東京高専においても毎年優秀な学生を世に送り出し、いまや多くの企業で高専出身者が中堅技術者として活動しております。インターシップ等、将来の技術

者の教育に参加するのも地域企業の役割であると思います。また年々高度な先端機器も設備されており会員企業の役に立つものと思います。教育機関ばかりでなく、新製品開発のパートナーとしての役割も担っています。

本年も東京高専と会員企業との関係強化を図るとともに会員企業間あるいは関連業界との関係強化に努めていきたいと思っております。重ねてご協力を期待する次第です。最後に本年のみなさんご健康とますますの発展を祈願します。

PR誌『はち・ものMAGAZINE』が発行されました

八王子市内のものづくり企業53社を本校学生17名が取材した冊子『はち・ものMAGAZINE』が発行されました。これは、八王子の優れた企業を若者に紹介することを目的に、八王子市の委託により八王子商工会議所が製作したものです。9月の2週間、4年、5年、専攻科の学生たちは各企業をインタビューして記事を作成しました。企業についての事前調査、新聞記者による取材方法の講義、原稿作成後のプロの編集者によるチェックなどを経て、カラフルな読みやすい冊子に仕上がりました。本会会員企業も多数紹介されています。

工科系学生の視点で企業紹介をするという企画は国内初と言われています。全国51の国立高専にも配布され、読売、日経、日刊工業の各誌でも紹介されました。購入(無料)を希望される方はメール(kikaku@tokyo-ct.ac.jp)でお知らせください。



事務局より

明けましておめでとうございます。大田会長のお言葉のように、本会は会員企業の皆様方とのより一層の関係強化を図ってきたいと思っております。本年も宜しくお願致します。kikaku@tokyo-ct.ac.jp